

安心・安全な口細見のお米生産プラン

事業実施主体名	農事組合法人ラブグリーン細見		住 所	鳥取市
プラン認定日	平成22年8月17日	プラン期間	平成21年～平成25年	

1 プラン内容

(1) 概要

市内の山間地で有機肥料・減農薬栽培に取り組み、地域の農地を守っている。直接販売を行っているが、害虫被害等による着色米が目立ち、また、保管・調整機械がないため、随時の注文に対応することが難しい。

このため、これらの環境を改善することで、法人の直接販売比率を高めることにより収入の増加を図り、安定的な経営を行うとともに、地域の水田を守っていく。

(2) 取り組みポイント

- 有機肥料栽培、減農薬栽培に取り組み、独自ブランド米として販売する。
- 直接販売比率を現在の4割から6割に向上させ、収入増加による経営安定を図る。
- 適期刈り取り、高品質な米の出荷により、高単価での販売を行う。
- 地域の作業受託を受けることにより、近隣集落の耕作放棄地発生抑制に取り組む。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H21	色彩選別機 (1,000kg/h)	3,400	1,133	567
H22	石抜精米機 (精米 240~300kg/h) 低温貯蔵庫 (米袋 108袋用)	1,195	398	200
H23	自脱型コンバイン (4条刈)	5,095	1,698	849
合 計		9,690	3,229	1,616

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力（雇用）	1. 4人役/年 ※	1. 4人役/年
経営内容・規模	有機肥料・減農薬栽培米 566a その他水稲 316a 大豆 89a 作業受託 100a	有機肥料・減農薬栽培米 742a その他水稲 201a 大豆 0a 作業受託 200a

※法人の年間農業従事日数（8時間を1日に換算）を365日で割り戻したもの。

(2) 成果

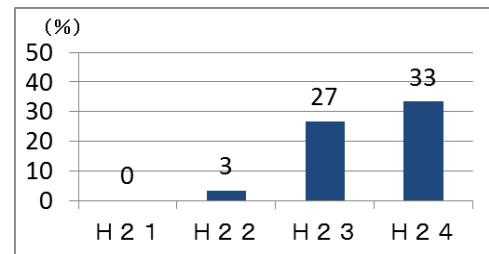
1 プラン目標に対する実績

農事組合法人ラブグリーン細見は、本プランにおいて農業所得と米直販率を目標に掲げている。農業所得は、ほぼ計画どおり順調に推移している。

米の直販率も、計画どおり推移しており、販売単価はJA出荷に比べて高く設定しているため、農業所得の向上にも寄与している。

表：目標値に対する達成率

目標項目	H21	H22	H23
農業所得	89%	145%	115%
米直販率	52%	49%	54%



図：水稲中生品種の作付け推移

2 経営改善の実績

1) 水稲中生品種の作付けによる作期分散

H22年に水稲の作期分散を目的に中生品種「きぬむすめ」を導入した。収量性が高く、倒伏もしにくかったため、翌23年には作付け面積を10倍近く拡大することで、適期刈取りによる品質改善につながった。

2) 水稲の収量増

県認証特別栽培米を作付していることから、化学肥料と化学農薬を慣行量の半分以下にする必要があるため、有機質肥料を利用していたが、中山間地であるため気候や日照条件などのハンデもあり収量が伸びなかったが、基準の範囲内で化学肥料を元肥に利用したところ収量が増加した。

3) アスパラガス等の施設野菜の導入による売上高の増

耐雪型ビニールハウスを導入し、アスパラガスやホウレンソウなど、農閑期などに収益が見込める施設野菜を導入して売上高の増に繋がった。野菜栽培や加工作業は女性を中心に作業をし、男女共同参画も進めている。



写真：アスパラガスの定植作業

3 今後の経営改善の方向性

今後は、水稲の反収が安定的に高水準になるように栽培責任者を中心に技術研鑽を行っていきたい。併せて、経営データを活用した経営分析を行い、役員全体で課題を共有し、集落全体で農作業に取り組みながら、荒廃地を出さないよう農地を守りながら経営発展に向かっていきたい。

[東部総合事務所農林局]